

地域と共に生きる。岩手の起業家⑥

街を創造する「塗創業」を目指して！

『川上塗装工業株式会社』 代表取締役 川上 秀郎 さん



私は歴戦者らしく有名な二戸市金田一で産まれました。若い頃は限町の青森県三戸町で、屋根板金の職人をしており、屋根の修理や塗装の仕事をしています。現場では炎天下の中、誤って落下すれば命の保証など無いような高所で作業をします。汗が滝のように流れ、真つ黒に日焼けし、屋根の熱さで足を火傷しながらも「俺達、職人は手際よく、かっこよく仕事をしとやる！」という先輩の仕事ぶりが私の憧れであり、誇りでした。

当時の仕事で一番嬉しかった事は、「親父(社長)から仕事を任せられる事でした。その前の晩は、帰宅してから仕事の手が頭から離れず、「どうやって親父の予測を上回ってやるのか」「どうしたら安全で美観の良い商品が出来るか」など、そんな事はかりが頭

を巡り、興奮して夜中まで眠れないことが多々ありました。そして何より、お引渡しの時にお客様は最高の笑顔を見せてくれます。それを見て親父も最高の笑顔になります。そして私達はその光景を見て感動します。自分が精一杯仕事をすることで人に認められ、「役に立つ」というのは本当に幸せであり、私の原点となっています。

その後、二戸を出て、盛岡で現在の妻と出会い、結婚して盛岡に根ざすことを決めました。盛岡で何度か転職しましたが、以前のようなやりがいのある職場には出会えなかったの

め、安易な考えでしが、35歳になり、昨年念願の法人化も果たし、早いもので創業10年目に突入しました。

わが社は「ゼロからイチを生み出す」ということをテーマにしています。普段は屋根や外壁の一般建築塗装をメインに行っていますが、新たに注力しているのが「裝飾塗装」と呼ばれるデザイン性の高い塗装です。唯一、塗装業のみが操れる限りない色の表現力と、平坦に塗るだけではない技術力とを組み合わせ、オリジナルの技法を生み出しています。その技術を活かしてペイント雑貨のブランド「Color House(デルチクリイイト)」を立ち上げました。デ

目標は「地域に必要とされる企業になること」です。社員と共に学んで成長し、全社一丸となってお客様に対して良い仕事をすることを、それが会社が成長し、新たな雇用を生む、という循環を一步ずつ着実に実践していきます。目指すスタイルを確立するため、今年春には長年お世話になった上田堤から三ツ割に移転します。その一環として「地域の方の夢を叶える場所を作りたい」と思い、創業10周年に合わせ、来年中にコミュニティカフェをオープンさせる予定です。地域に根差し、たくさんの人と交流することで盛岡から新しいことを発信し、街づくりに貢献していきたいです。

今思つて「経営」に関して無知だった

川上塗装工業を創業しました。

川上塗装工業株式会社
代表取締役 川上秀郎